

令和8年3月定例会

令和8年3月当初予算(一般会計)
350億2014万7千円(対前年比4%増)

■ 令和8年度 当初予算 主要事業一覧

【① まちづくり・インフラ】

鳥栖駅周辺整備事業	118,883千円	駅周辺の利便性向上・設計等
新鳥栖駅周辺整備事業	8,091千円	駅東側のまちづくり検討
山浦PAスマートIC調査事業	14,528千円	スマートIC設置に向けた検証
地域公共交通確保維持改善事業	50,820千円	ミニバス・乗合タクシー運行
地方バス路線維持費補助金	69,152千円	路線バス赤字補填

【② 防災】

災害ハザードマップ作成事業	5,000千円	全戸配布・浸水想定反映
---------------	---------	-------------

【③ 教育】

小中学校ICT環境整備	469,581千円	1人1台端末(タブレット)の更新
ICT支援員配置事業	11,067千円	ICT教育の支援体制強化
学校給食費無償化事業	433,116千円	小中学校給食費を全額公費負担
特別支援教育支援員配置事業	137,625千円	支援が必要な児童生徒の補助
放課後児童クラブ整備事業	121,603千円	学童施設整備

【④ 福祉・医療】

5歳児健康診査事業	1,930千円	発達支援・就学前健診
旧ごみ焼却施設解体・整備事業	297,443千円	解体+資源回収拠点整備

【⑤ スポーツ・地域活性】

スポーツ振興奨励金	2,000千円	全国大会等出場支援
-----------	---------	-----------

より良い鳥栖に
わくわく宣言発行者：
西依義規
〒841-0005
鳥栖市弥生が丘
2-110-1
TEL090-1874-2107
e-mail:
waku2sg@gmail.com

鳥栖駅周辺整備事業(鳥栖駅東短期施策)設計費用1億188万3千円について議案質疑

【西依(質問)】業者選定はどうするのか。

【課長(答弁)】本事業は鉄道施設に近接し、運行や安全に影響を及ぼす可能性がある工事であるため、国の要項に基づきJR九州と協議を行った結果、安全確保の観点から、実施設計および工事はJR九州へ委託する予定です。



鳥栖駅東短期施策整備イメージ(R7.8)

鳥栖駅東口整備
JR九州委託で設計

※鳥栖駅東短期施策の概要

■事業費24億円+α都市・地域交通戦略推進事業活用・費用便益B/C1.1(仮試算値)・事業期間年数8〜11年(うち工事期間4〜6年)



鳥栖駅東口跨線橋(R7.8資料より)

【課長(答弁)】東口は跨線橋(約60m)などを設置予定で、詳細は今後検討します。バス待ち環境施設は交通結節機能の強化を目的に整備し、「ちよいソコとす」などの乗り継ぎ利便性向上を図ります。待合や休憩、待ち合わせに利用できる空間として検討します。

【西依(質問)】東口設置およびバス待ち環境施設の具体的な内容・規模・機能は。

捨てていた紙を資源に
古紙回収がスタートごみ対策・リサイクル推進事業
856万円について議案質疑

【西依(質問)】

■これまで雑がみ回収は課題があるとして実施困難とされてきたが、今回の回収ボックス設置で、それらの課題をどのように整理し対応したのか。

【課長(答弁)】

■水濡れの課題は残っていますが、屋根・扉付きボックスで一定対応します。屋外回収は雨天時の排出を控えるよう周知します。

【西依(質問)】

■推進センターを設置場所とした理由と、田代・鳥栖北・旭3地区への選定理由と今後の展開は。

【課長(答弁)】

■利用しやすく管理しやすいため選定しました。地区は設置条件や距離バランスで選定しています。今後は検証し、全8地区へ展開を目標します。

一般質問トピックス

こども計画策定について、
こども・若者の声を聞く体制は

【部長(答弁)】

■本市のこども計画の策定におきましては、16歳から39歳を対象とした若者アンケートの実施、小中学生を対象とした子どもミーティングの開催、各種支援団体や子どもの居場所団体と連携した意見聴取、さらにパブリックコメントの実施などを通じて、多様な意見の把握に努めてまいりますと考えております。

鳥栖市に水泳ができる施設
整備について市長の見解は？

【市長(答弁)】

■市が直営で温水プールを整備・維持するには、多額の初期投資と維持管理費が必要であり、限られた財源の中では慎重な判断が必要と考えております。

一方で、水泳環境の確保は重要であることから、既存民間施設の活用や民間資本の導入など、多様な手法を含め検討してまいります。

基山町の住宅取得補助制度を
本市でも導入すべきと考えるが

【部長(答弁)】

■本市におきましても、子育て世帯の定住支援について検討してまいりましたが、現在は転入や住宅需要が堅調であることから、補助制度による定住効果は限定的であり、費用対効果の観点から慎重な検討が必要と考えております。

また、住宅供給が十分でない状況も踏まえ、需要喚起の是非も含め、既存市街地の高度利用などによる供給確保についても検討してまいります。

3月議会を振り返って

■3月議会の一般質問では、「市立図書館のあり方」と「新鳥栖駅周辺のまちづくり」について取り上げました。

■市立図書館のあり方

現在の図書館は、高齢者の利用が多い一方で、若い世代の利用は1日数人程度にとどまっています。

私は、子どもや若者の居場所となる空間づくりカフェや交流機能を備えた「滞在型図書館」への転換を提案しました。

しかし、市の答弁は、機能維持を目的とした改修が中心であり、大きな方向転換には踏み込んでいません。これからは、「本を借りる場所」から人が集い、学び、つながる場所へ変えていくことが必要だと考えています。

■新鳥栖駅周辺のまちづくり

新鳥栖駅は、新幹線と高速道路が結びつく大きな可能性を持つ拠点です。

私は、東西一体のまちづくり、民間活力の導入、住宅・商業・交流機能の整備について提案しました。

市も、ホテルやオフィスなどの導入可能性を認識していますが、具体的な計画や時期は未確定のままです。

■鳥栖に必要なのは「一歩踏み出す勇氣」

人口減少の時代だからこそ、何もしなければ、まちは確実に縮んでいきます。だからこそ、必要なのは現状維持ではなく、挑戦。検討ではなく、実行です。

■最後に

今回の議論を通して見えたのは、方向性はあるが、実行が伴っていない現状です。だからこそ、これからは、検討から実行へ引き続き、鳥栖の未来に向けて問い続けてまいります。

3月議会一般質問



市立図書館の大規模改修と将来構想について

若者利用促進策効果は依然限定的か

【西依(質問)】

■図書館要覧を見ると、利用者の中で61歳以上の利用が最も多く、若者の利用は1日平均で16～18歳が2.5人、19～22歳が3人と少ない状況にあるが、若者の利用を増やす取組を考えているのか。

【教育長(答弁)】

■若い世代の利用促進については、中高生向けの「中高生の本棚」の設置や、土日・祝日および長期休業期間中に2階集会室を学習コーナーとして開放しています。

新鳥栖駅東西一体の都市機能整備について

新鳥栖駅東側まちづくり民間連携で具体化へ

【西依(質問)】

■新鳥栖駅東側のゾーニング(下図)では、どのような都市機能の導入を想定しているのか。また、民間開発についてどのように考えているのか。

【部長(答弁)】

■上位計画や現地条件を踏まえた整備のたたき台であり、今後、地権者や関係機関と協議しながら具体化していきます。住宅ゾーンはマンション・戸建て、商業ゾーンは複合施設や店舗、公園ゾーンは緑地等を想定し、民間事業者と連携して効率的な土地利用を図る考えです。

南北道路はアンダーパスで

【西依(質問)】

■ゾーニング図に示されている南北道路と鉄道との交差(下図②)については、立体交差・踏切などどのような形状を想定しているのか。また市の道路網としての位置づけはあるのか。

市立図書館大規模改修機能維持と更新止まり

【西依(質問)】

■令和10年度に市立図書館の大規模改修が予定されているが、市民の利便性向上の観点からどのような機能の見直しを検討しているのか。

【教育長(答弁)】

■大規模改修は公共施設等総合管理計画に基づき、長寿命化を目的とした機能維持のための改修を予定しており、具体的には内装(天井・床・壁)、電気設備、空調・給排水設備、エレベーターなどの更新を行う予定です。

滞在型転換 具体化見えず

【西依(質問)】

■本を並べる図書館から、空間を重視し、市民が滞在し交流でき、子どもや若者の居場所にもなる図書館へ発想を転換する考えはないか。

【教育長(答弁)】

■大規模改修時に、利便性向上のための空間創出など必要な見直しを検討します。日頃のサービス向上も改修に活かします。

図書館リニューアル

他市参考に検討を

【西依(提案)】

■佐賀市では公園のように過ごせる図書館リニューアルが進められている。本市でも図書館リニューアルについて検討する考えはないのか。

【教育長(答弁)】

■近年、図書館のリニューアルではカフェ併設や商業施設内への移転などが増えていることは認識しています。本市としても、限られたスペースの中で他市の事例を参考にしながら、多機能で誰もが利用しやすい図書館を目指し、調査・研究に努めていきます。



佐賀市立図書館本館大規模改修基本計画より

検討が進まない理由は

【西依(質問)】

■これらを踏まえ、本市の将来的な図書館のあり方や整備の方向性について、市長の見解を伺う。

【市長(答弁)】

■図書館の大規模改修は、先ほど教育長が答弁したとおり、基本的には機能維持を目的としたものでございます。

その中で、限られたスペースではありますが、他市の事例も参考にしながら、より多くの市民の皆様にご利用いただける図書館となるよう取り組んでいく必要があると考えております。

また、図書館の充実に当たっては、施設面だけでなく、ソフト面の充実も重要であると考えております。

ブックスタート事業の開始、移動図書館車の導入、学校図書システムとの共通化、図書アプリの導入など、本に触れる機会を増やす取組を進めてまいります。

今後とも、1人でも多くの方に、1冊でも多くの本を手にとっていただける環境づくり、特に子どもたちが親しみやすい空間づくりを、教育委員会とともに進めてまいります。

【部長(答弁)】

■南北道路と鉄道の交差は、現時点では地理条件を踏まえアンダーパスを想定していますが、今後、地権者や関係機関との協議により位置や形状は変更の可能性があり、現段階では未確定です。あわせて、市の道路網としての位置づけについても、今後検討していく考えです。



新鳥栖駅東まちづくり(ゾーニング)

市営駐車場も住宅ゾーンに

【西依(質問)】

■新鳥栖駅西側にある市営駐車場(下図④)などのまとまった土地について、民間開発も含めた土地利用の転換や高度利用を検討する考えはあるのか、その方向性と今後の検討方針について伺います。

新鳥栖駅周辺の将来像は

【西依(質問)】

■新鳥栖駅周辺全体を鳥栖市の中でどのような都市拠点として形成していくかとしているのか。将来ビジョンについて市長の見解を伺う。



新鳥栖駅周辺将来道路網・土地利用(西依私案)

【市長(答弁)】

■新鳥栖駅周辺は、都市計画マスタープランにおいて広域交流拠点として位置づけられ、観光やビジネスの交流を促進する市街地形成を目指す地域でございます。新幹線駅に加え、山浦スマートICとの連携により、高速道路と鉄道が結節する立地であり、北部九州の発展を牽引する可能性を有しております。

このため、ホテルやオフィス、コンベンション機能、さらには住宅開発など、多様な都市機能の導入が期待される地域と認識しております。今後は、自然環境との調和にも配慮しながら、多様な人々が集い交流する活力あるまちづくりを進め、地域経済の活性化につなげてまいります。